

「本物」「スローライフ」売りに 欧米人観光モニター 倉吉の魅力を指摘



倉吉市の魅力や課題について話す外国人モニター＝
23日、倉吉未来中心

心で開いた。モニターは倉吉ならではの「本物」や「スローライフ」を取り組みの必要性を指摘した。

同市が進める「レトロ&クールツーリズム」を欧米系外国人に

発信するための新たな発見、プロモーションの計画につなげるのが狙い。調査は観光庁の「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」の一環で、国内に在住する米国、フランスなどの旅行会社社員や翻訳家ら5人が参加した。

モニターは21日から

を見学。会では、外國

人が魅力と感じた資源について倉吉線廃線跡の竹林や昭和レトロな看板などの資源、海にも山にも近い立地の良さなどが挙げられた。

また、「旅行では特別な体験、発見をしたい」「普段の生活が見たい」と話し、東京や京都にはない田舎の良さを打ち出す必要や農家民宿も選択肢になり得るとした。

同市観光交流課の山根正二課長は「観光素材の見せ方と情報発信で欧米人を呼び込むチャンスは大きいにあると実感した」と話した。

（石原美樹）

倉吉市と中国運輸局は23日、同市の観光施設などを調査した欧米

元観光関係者が意見交換する会を倉吉未来中

白壁土蔵群や酒蔵など